
部屋の中

キノコマン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
部屋の中

【コード】
N3388A

【作者名】
キノコマン

【あらすじ】
謎の部屋の中に閉じ込められた一人の男の話し

一枚の紙が、机の上に置いてある

『たすけて』と言え

何のことであろうか？おもむろに手にする、ポケットに入れる。

今居るところは、小さな部屋で自分一人しか居ない。

外に出たいが、外からドアに鍵が掛かっている。

窓から出ようか、ここは25階出られそうもない。なぜこんな所に居るのかそれは、数時間ほど前の話だ。

数時間前カップラーメンを食べようとお湯を入れ後1分と迫ったときだった、後ろから突然ハンカチをあてられ眠ってしまった、あのラーメンはとくに伸びているだろうそれだけが気掛かりだ。天井を見つめたため息を吐く。

「腹減ったな」

気が付くと机の上に食べた後のカップラーメンが、むかつく誰が食べたんだけ！

鏡の向こうで誰かの笑い声が聞こえたような気がした。

「マジックミラーかよ、誰か見てんだろ！早くだせよ！」

小話で笑わしたろ。

「隣の家に、池ができたんだってね、行けー！」また、今度は壁の向こうから声が聞こえたような気がする。

「あまり笑いが起きない、いまいちか…」

突然、ブーと言う音とともに床が抜ける俺は下へと落下した。

「たすけてー！」

下にはネットが引いてあった、上を見つめると暗やみだけが広がっていた。

気が付くとネットが消えていた下に降ろされたのだろうか。

ここは、何処だろうか？明かりは無いだろうか、手探りで探す、なんか狭い部屋だ突然電気が付いた。

さっき落ちてきたはずなのに天井がある、きつと移動したんだ。
さっきの部屋だ…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3388a/>

部屋の中

2010年12月8日23時58分発行